

Yahoo! JAPAN 第9回ウェブ・ユーザー・アンケート結果発表 表 ブロードバンド化が加速、インターネットが生活に浸透

2001年3月23日

ヤフー株式会社

Yahoo! JAPAN 第9回ウェブ・ユーザー・アンケート結果発表 ブロードバンド化が加速、インターネットが生活に浸透

(Yahoo! JAPAN のURL : www.yahoo.co.jp)

日本最大のアクセスを誇るウェブサイトYahoo! JAPAN（本社：東京都港区、社長：井上雅博）は本日、第9回ウェブ・ユーザー・アンケートの結果を発表しました。本調査は、2001年1月23日から2月5日までの2週間、Yahoo! JAPANのトップページに「アンケート実施中」のテキスト・リンクを掲載し、アンケートサイトへ誘導する方法で、日ごろYahoo! JAPANを利用しているユーザーの利用実態や意見を収集する目的で実施しました。この調査は1996年9月の第1回より過去に計8回行っており、第9回目となった今回は4万7522件という過去最高の有効回答が得られました。

また、株式会社日本リサーチセンターのインターネット視聴率調査レポートによると、本調査を実施した期間のYahoo! JAPANの視聴率（NAR：4週間に1度以上の訪問者の比率）は87.1%でした。

【主要結果】

1) インターネット普及の勢い

「女性」、「50歳以上」、「19歳以下」、「関東以外」のユーザーが引き続き拡大しました。また、全体の3割もの人が2000年以降にインターネットを始めた新規ユーザーでした。インターネットが相当なスピードで普及してきていることが確認されました。

2) インターネットが生活の一部に

インターネットへのアクセス頻度が増加傾向にあり、今回は8割以上の人が一日に1回以上アクセスすると回答しています。また、アクセス時間を見ても、一日1時間以上インターネットにア

クセスする人が4分の3以上にのぼり、インターネットがユーザーの生活の一部として根づいてきている様子がうかがわれます。

3) 利用回線の高速化（ブロードバンド化）

64kbps以上の高速回線利用者が増加傾向にあり、今回初めて56kbps以下の回線利用者を上回りました。利用回線の種類でも、「ISDN回線」、「CATV」、「ADSL」のいずれかの利用者数は、「通常の電話回線」利用者数を大きく上回り、高速化が顕著となっています。

弊社では、今後も半年に一度ウェブ・ユーザー・アンケートを実施し、今後の事業戦略を立案する上で基礎的なマーケティングデータとして活用し、よりユーザー環境とユーザーニーズに適したサービスの展開を行っていきます。

「リサーチ関連情報」URL：docs.yahoo.co.jp/info/research

【Yahoo! JAPAN】 www.yahoo.co.jp

Yahoo! JAPAN（登録銘柄・コード番号 4689）は1か月あたり約1916万人のユニーク・ユーザー数※と、一日1億5700万ページビューのアクセスを誇る総合情報サイトで、ディレクトリ・キーワード検索サービスをはじめ、ニュース速報や天気予報、株価情報、企業情報、スポーツ速報、旅行情報、テレビ番組表、大学受験と資格情報、地図情報、就職・転職情報、自動車カタログ情報、鉄道や空路の経路情報、不動産物件の賃貸・売買情報、グルメ情報、占い情報、インターネット上での音声・動画配信サービス、コンピュータ関連情報、辞書検索機能、音楽関連情報などの情報提供サービス、ネットワーク型対戦ゲーム、掲示板、パーソナルチャットツール機能、グリーティングカードサービス、ホームページ開設サービス、スケジュール管理、チャットなどのコミュニティー・サービス、ショッピング、オークションなどのコマース・サービス、さらにこれらの情報をカスタマイズ編集できるサービス、子ども向け検索サイト、携帯端末向けサービス等、広範囲にわたるコンテンツを提供しています。。

Yahoo!のグローバルネットワークは、アメリカをはじめ、日本、カナダ、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、イタリア、イギリス/アイルランド、スウェーデン、スペイン、スペイン語、デンマーク、ドイツ、フランス、ノルウェー、アジア、オーストラリア/ニュージーランド、韓国、香港、シンガポール、台湾、中国、中国語、インドの世界24の国や地域別のサイト、12言語でサービスを運営しています。

※（株）日本リサーチセンターのインターネット視聴率調査レポート（JAR Report vol. 27：調査期間 2001/1/29～2001/2/25）による視聴率87.1％（NAR：4週間に1度以上の訪問者の比率）をもとに、日本のインターネットユーザーを約2200万人として算出。